

校訓・学校教育目標	校訓「自立・貢献・信頼」 学校教育目標 (1) 自ら学ぶ生徒 (2) 思いやりのある生徒 (3) 健康に努める生徒	学年教育目標	自律… 自分の行動に責任をもつことができる青学年 貢献… 一人一人が全体のために行動できる青学年 信頼… 互いに信頼し合える青学年
学校経営方針と重点目標	学校経営方針 教育の根幹は相互における信頼関係の上に成り立つととらえ ・「生徒から信頼される教師の育成」。 ・「保護者から信頼される教育活動の実施」。 ・「地域から信頼される学校の創造」を旨とし、職員一丸となって取り組む。 重点目標 9年間を見据えた、校区内小学校との連携・交流の一層の充実を図る。	学年経営方針	①生徒のためになることに時間を割く。 ・生徒から好かれるために易きに流れないように。注意すべきは注意を。 ②生徒の立場に立って学年目標の具現化に努める。 ・決められた規則やルールを守り、場に応じた行動ができ、その中で活躍できるようにする。 ・これからの多様性を生きる子どもたちが、お互いを尊重した関係を築けるようにする。 ・行事などを通じて、一生懸命に取り組む力、最後までやり抜く力を身につける。 ③生徒一人ひとりに目を向けた指導を。 ・休み時間や空き時間の見回りなどで問題の早期発見や指導をしていく。 ・発達に関する課題や不登校の生徒に対する、個に応じた指導を行う。 ④分掌担当の意識を高め、仕事をしていく。 ・学年会等に早めに提案し、それを基に指導する。 ⑤学年教員の共通理解に基づいた指導・行動を。 ・決まったことを学年みんなで一貫してやっていき、指導していくことが教育の成果に繋がる。 ⑥報告・連絡・相談「ほうれんそう」を大切に。 ・何かあったときには主任と関係各所に「報告・連絡・相談」をしていく。保護者との間でも必要。 ⑦リーダー・サポーターを育てる指導を。 ・集団の活動の中で、責任を持たせて仕事を任せせる。サポーターの育成も視野に入れる。全体がそれに従う雰囲気もつくる。
学習指導	意欲的に学習に取り組む生徒を育てる。 1、授業規律を確立し、良好な学習環境を形成する。 2、学習の基礎・基本を身に付けさせる。 3、自ら学ぶ姿勢、学習習慣を定着させる。	生徒指導	1、基本的生活習慣の定着を図る。 2、問題行動の早期発見、早期解決をめざす。 3、学年職員の共通理解を徹底し、集団指導体制を確立する。 4、子どもたちに向き合った指導体制の確立。 5、保護者・地域と連携した指導体制の確立。
道徳指導	1、集団や社会の一員として、自己の役割と責任を自覚して行動できる生徒を育てる。 2、感謝と思いやりの心を持ち、謙虚に他に学ぶ広い心を持つ生徒を育て、互いを尊重し合える関係を築く。	進路指導	1、一人一人の個性を生かし、長所を伸ばす指導をおこなう。 2、働く意義について職場体験を通して考えさせる。
特活指導	学年の委員会活動などの自治的諸活動、係活動、行事を通じて、集団の一員としての自覚を高め、一人一人が責任ある行動ができるようにする。 1、リーダーを中心とした活動の重視。 2、リーダーを支えるサポーターの育成。 3、一人一人の能力や適性を生かす。	家庭との連携	1、「学年便り」「学級通信」を発行し学校での様子を定期的に伝える。 2、日頃から家庭・地域との連絡を密にし、信頼関係を築く。 3、教員間の情報交換、共通理解を密にする。